

ロンドン・バロック

ピリオド楽器(古楽器)で聴く、パッヘルベルの「カノン」!



古楽への招待—2

'99

12|4

[土] 15:00開演(14:30開場)

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

入場料: 一般 4,500円 学生席 2,500円 [いずれも全席指定]・学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております。6歳未満のお子様はご入場になれません。

ご予約・お問い合わせ: ☎(077)523-7136 びわ湖ホール

(チケット取り扱い) びわ湖ホール ☎(077)523-7136/チケットぴあ ☎(06)6363-9999/チケットセゾン ☎(06)6232-9090

チケット発売開始: 9月12日(日)10:00より/友の会優先発売開始: 9月9日(木)10:00より

主催: 財団法人びわ湖ホール



Ensemble Hall
Concert Series
vol. 16

あまりにも有名なバッハの「カノン」。
英国を代表する古楽グループ、ロンドン・バロックの演奏は、
古風でロマンティックな演奏と違って、爽やかでシンプル。
今を生きる私たちの気持ちにぴったりです。
「こんな演奏に出会いたかった!」なんて、
誰もが感じることでしょ。
素敵な「ジグ」も付いて、なんともオシャレです。
もちろん、ヴィヴァルディやバッハの作品も聴きのがせません。

「バック・トゥ・バッハ」

Back to Bach

B.マリーニ
B.Marini(1587-1663)

3つのヴァイオリンのためのソナタ
Sonata for three violins (1626)

4声のパッサカリヤ
Passacaglia a4 Op.22 (1655)

G.ガブリエーリ
G.Gabrieli(1557-1612)

3つのヴァイオリンのためのソナタ
Sonata for three violins (1615)

H.パーセル
H.Purcell(1658-1695)

パヴァース 変ロ長調
Pavane in B-flat major Z50

シャコンヌ ト短調
Chaconne in g minor Z807

J.パッヘルベル
J.Pachelbel(1653-1706)

カノンとジグ ニ長調(3つのヴァイオリンと通奏低音のための)
Canon and Gigue in D major for three violins and bc

A.ヴィヴァルディ
A.Vivaldi(1678-1741)

協奏曲 ハ長調
Concerto in C major RV114

ソナタ「聖なる墓にて」 変ロ短調
Sonata "Al Santo Sepolchro" in b minor RV169

ソナタ「聖なる墓にて」 変ホ長調
Sonata "Al Santo Sepolchro" in E-flat major RV130

J.S.バッハ
J.S.Bach(1685-1750)

チェンバロ協奏曲 第1番 ニ短調
Concerto in d minor for harpsichord and strings BWV1052

イングリット・ザイフェルト(ヴァイオリン)
Ingrid Seifert-violin

リチャード・クヴィルト(ヴァイオリン、ヴィオラ)
Richard Gwilt-violin, viola

ジーン・パターソン(ヴァイオリン)
Jean Paterson-violin

チャールズ・メドラム(チェロ)
Charles Medlam-cello

テレンス・チャールストン(チェンバロ)
Terence Charlston-chembalo

ロンドン・バロックは1978年に結成され、ガブリエーリ(1600年代)の弦楽レパートリーからモーツァルトまでの作曲家の作品を研究し、それぞれの作曲家の理念に基づいて、出来るだけその時代の楽器と技法によって演奏することを目的としている。全員がビリオド楽器を使用しており(コンサートのピッチは、A=415)、曲目によって弦楽器の弓を使い分けるなど、演奏の細部にまで神経が注がれている。弦楽だけのアンサンブルから管楽器のコンチェルト、優れた声楽家を加えてのカンタータ、レギュラー・メンバーを各パートのリーダーとしてオーケストラを編成してのオラトリオ、オペラに至るまで大変幅広く活動している。演奏は、先取性に満ちた新しい感覚を前面に出しながら、どこまでも自然でのびやか。それでいて、作品の様式感はしっかりと押さえられている。チューニングの正確さは言わずもがな。ステージ・マナーもさわやかだ。最近では鮮烈な演奏というより、熟考された内的な演奏に変わってきた。

さて、来日メンバーを紹介しておこう。

イングリット・ザイフェルトはオーストリアに生まれ、ザルツブルク・モーツァルテウム在学時代から古楽演奏を学んでいる。ウィーン・コンツェントゥス・ムジクスとの共演、オランダでの研さん後、チャールズ・メドラムとともにロンドン・バロックを結成した。使用するヴァイオリンはヤコブス・スタイナー(1661年)である。

リチャード・クヴィルトはエディンバラに生まれ育ち、パーミンガム大学と米国ミシガン大学で音楽学を修めた。1983年に帰国し、ロンドン・バロックに加わる。現在ロンドンのトリニティ・カレッジでバロック・ヴァイオリン科の教授を務めている。使用楽器はスタイナー(1660年)とマティアス・ティル(1681年、ウィーン)。作曲家としても知られる。

ジーン・パターソンはオクスフォード大学で音楽理論を修めた後、ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックでヴァイオリンを学ぶ。カンツォーナ、オクスフォード・バロックなどで活動している。ロンドン・バロックとは定期的に共演し、拡張アンサンブルの重要なメンバーである。使用楽器は作者不詳(1680年、ミュンヘン)。

チャールズ・メドラムはロンドン、パリ、ウィーン、ザルツブルクでチェロを学んだ後、世界各地で多岐にわたる音楽経験を積んだ。ロンドン・バロックのリーダーとしての活動と同時に、パリのオペラ座とオペラ・コミック、シュトゥットガルト、ユトレヒト、モンペリエで指揮者としても活躍中である。使用楽器は、フィノッチ(1720年、ペルーシア)。

テレンス・チャールストンは、1962年のランカシャー生まれ。オクスフォード大学キーブル・カレッジでオルガン科の特待生として学び、続いてウェストミンスター大聖堂でも奨学金を受けてオルガンを学ぶ。さらにロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージックに特待生として迎えられた。パーセルの8曲の組曲を収めたCDが昨年発売されている。ロイヤル・アカデミー・オブ・ミュージックのアーリー・ミュージック部門のヘッドをも務める。

「びわ湖ホール友の会」会員募集中!

チケットの優先購入(一般前売りの3日前)をはじめ、電話でのチケット購入や無料郵送、定期刊行物によるいち早い情報のお知らせ、その他いろいろな特典・サービスをご提供いたします。◎年会費 2,312円(クレジットカード年会費1,312円を含む)

※詳しくはびわ湖ホール事業部広報営業課まで。TEL.077(523)7137

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

財団法人びわ湖ホール
〒520-0806 大津市打出浜15-1
TEL.077-523-7133 FAX.077-523-7147
http://www.biwako-hall.or.jp/

びわ湖ホールへの交通のご案内
大津から39分、京都から9分、名古屋から60分(JR利用・大津駅着)
●JR大津駅前より徒歩約5分(びわ湖ホール下車)●JR琵琶湖線「大津」駅「膳所」駅より徒歩約15分●京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分●名神高速大津ICより約5分(有料駐車場854台)

